

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野台小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 16人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

- ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。
- イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。
- ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は上～中位層が少なく、下～中位層に多く分布している。

平均正答率（本校 50／泉佐野市 59／大阪府 60／全国 63.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【読むこと】 ○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。 2－（1）食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、「質問に思ったこと」の①に対する答えとして適切なものを選択する（75.0/80.7）</p> <p>○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことは、概ねできている。 2－（2）食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に、「質問に思ったこと」の②に対する答えになるように考えて書く。（81.3/75.9）</p> <p>○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことに課題がある。 2二 干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する（75.0/88.5）</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることに課題がある。 3一 豊職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する（75.0/81.3）</p> <p>○目的に応じて、質問を工夫することに課題がある。 3二 豊職人への【インタビューの様子】の口の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する（37.5/67.4）</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることに課題がある。 3四 ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】のウに入る適切なものを選択する（習うより慣れよ）（62.5/73.0）</p>	<p>【書くこと】 ○図表やグラフなどを用いた目的を捉えることに課題がある。 1一 公衆電話について調べたことを【報告する文書】で（資料2）と（資料3）をそれぞれのような目的で用いているか、適切なものを選択する。（62.5/71.2）</p> <p>○情報を相手に分りやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることに課題がある。 1二 公衆電話について調べたことを【報告する文書】で「（2）公衆電話には「どのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する。（50.0/63.4）</p> <p>○目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。 1三 公衆電話について調べたことを【報告する文書】の口に「2調査の内容と結果」の（1）と（2）で分ったことをまとめて書く。（6.3/28.8）</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 1四（1）ア（6.3/41.9）イ（43.8/69.4）</p> <p>○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。 1四（2）公衆電話について調べたことを【報告する文書】の口の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す。（25.0/47.8）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は大切だと思いますか	81.3	93.0	○	11.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.3	84.9		3.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役に立つと思いますか	81.3	91.2	◇	9.9
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	85.0	76.9	◇	8.1
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	62.5	78.1	○	15.6
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	56.3	68.5	○	12.2
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	50.0	71.4	○	21.4
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか	93.3	97.8		4.5
解答時間は十分でしたか（国語）	81.3	74.2	◇	7.1

- 「国語の勉強は大切だと思う」児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」児童の割合は全国と比べ高い。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答する児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど話や文章の組立てを工夫している」児童の割合は全国と比べ低い。
- 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段どうしの関係を考えたりしながら読んでいます」児童の割合は全国と比べ低い。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べやや低い状況である。

平均正答率（本校 60／泉佐野市 65／大阪府 66／全国 66.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○示された算数の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる</p> <p>3（2）減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるかを書く (18.8/31.1)</p> <p>○示された除法の式の意味を理解している</p> <p>3（4）$1800 \div 6$は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ (37.5/47.0)</p> <p>○示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる</p> <p>4（2）何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く (56.3/68.6)</p>	<p>【量と測定】 ○示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる</p> <p>1（3）減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く (31.3/43.9)</p> <p>【量と測定】【数量関係】 ○資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる</p> <p>2（3）二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く (37.5/52.1)</p>
<p>【数と計算】【数量関係】 ○2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる</p> <p>2（2）2010年の市全体の水の使用量が、1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く (62.5/78.6)</p>	<p>【図形】 ○図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる</p> <p>1（2）二つの合同な図形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ (43.8/60.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	68.8	68.6		0.2
算数の勉強は大切だと思いますか	75.0	93.7	○	18.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	62.6	83.5	○	20.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか	81.3	92.5	○	11.2
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.8	76.5	◇	7.7
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	81.3	79.1		2.2
算数の問題の解き方が解らない時は、諦めずにいろいろな方法を考えますか	68.8	82	○	13.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	81.3	82.1		0.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	81.3	84		2.7
算数の授業で問題の解き方や考え方が解るようにノートに書いていますか	87.5	87		0.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	75.0	80.7	○	5.7
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数）	100	84	○	16.0

- 「算数の授業の内容はよく分かる」児童の割合は全国と比べて低く、昨年度よりも低い。
(H30 77.0)
- 「算数の勉強は大切だと思う」児童の割合は全国と比べて低く、昨年度よりも低い。
(H30 92.3)
- 「調査問題の解答時間は十分だった（算数）」児童の割合は全国と比べて高く、昨年度よりも高い。
(H30 算数 A65.4 算数 B46.2)
- 「算数の問題の解き方が解らない時は、諦めずにいろいろな方法を考える」児童の割合が全国と比べて低く、昨年度よりも低い。
(H30 84.6)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度よりも低い。
(H30 92.3)

令和元年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活・学習の様子】	毎日決まった生活リズムで過ごせている。 地域の行事に進んで参加しているが、世間を良くするために考えたり、学校での出来事を家で話したりする割合は低い。 読書は好きだが、新聞は読まない。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <87.6/81.4>
		○ <u>家の人と学校での出来事について話をする。</u> <56.3/77.4>
		○今住んでいる地域の行事に参加している。 <75.0/68.0>
		○ <u>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。</u> <43.8/54.5>
		○読書は好き。 <83.3/75.0>
		○新聞を読んでいる。 <12.5/19.0>
【学校生活の様子】	物事をやり遂げたり、学級で取り組んだりしてうれしかったことは、全国に比べ割合が低い。 学校に行くのは楽しい、や、学校の決まりを守る、の項目は、低い。	○ <u>物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。</u> <81.3/95.2>
		○ <u>学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。</u> <62.6/84.1>
		○ <u>学校に行くのは楽しい。</u> <62.6/85.8>
		○ <u>学校の決まりを守っている</u> <62.5/92.3>

<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>海外への関心は高まっていない。 学校での ICT などの使用頻度は高く、子どもたちはもっと活用したいと思っている。(問 27・28) 学級での話し合い活動など、授業に主体的に取り組んでいる割合は全国に比べて低い。</p>	<p>○<u>外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。</u> <43.8/68.6></p> <p>○<u>学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。</u> <56.3/74.1></p> <p>○<u>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。</u> <50.1/65.7></p> <p>○<u>学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う。</u> <43.8/73.4></p> <p>○<u>5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。</u> <68.8/77.7></p>
-------------------------	---	--

本校の取組

◎これまでの取組

①学習面

◇学習規律の確立「佐野台小学校学習の5ヶ条」(H30年度改訂)

- ・休み時間に、次の学習の用意をする。チャイム行動を心がける。
- ・話し方、聞き方、返答の仕方、姿勢について。

◇学力向上の時間（Eタイム（給食後の15分間）、水曜日5限後の15分間）

<全学年>水曜5限後…漢字の学習、木曜日Eタイム…算数（計算）の学習

<5, 6年>月、水、金曜日Eタイム…国語と算数の既習学習の定着をめざした学習

◇佐野台タイム

- ・基礎基本を中心に、年間を通して計画的に実施する。
- ・4, 5, 6年生に各3～4名の教師で指導にあたる。クラブ・委員会のない月曜6限に実施する。

◇家庭学習の徹底「家スタ」(R01年度改訂)

- ・年度初めに配付する家スタの手引きを参考に家庭学習に取り組む。
- ・宿題とは別に、自ら課題を見つけ、家スタノート（自主学习ノート）にまとめる。
- ・低学年10分、中学年20分、高学年30分を目標に家スタノートに取り組む。

◇読書

- ・図書での読み聞かせを実施する。・本の貸し出しの多い子を表彰し、しおりを配付する。

◇朝の運動「UPタイム」

- ・火、木、金の朝10分間、全学年で体を動かす時間を設ける。
- ・朝から運動することにより、体力向上をめざすとともに脳が学習するための準備を整える。

②生活面

◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い、子どもたちの朝食摂取や睡眠時間、テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら、食育や生活習慣改善の協力を求める。

◎これからの取組

①学習面

◇学習規律の確立

- ・児童朝礼での啓発を行い、学習規律の徹底を引き続き図り、落ち着いて学習に取り組ませる。

◇学力向上の時間

- ・引き続き、Eタイム及び水曜日5限後の15分を基礎基本の定着を図るための時間として実施する。
- ・月曜日朝の15分を読書の時間に充てるなどし、学力向上を目指すとともに、落ち着いた環境で1限をむかえられるようにする。

◇佐野台タイム

- ・引き続き、年間を通して取り組み、複数指導者での指導体制を活かして、基礎基本の定着を図る。

◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・家スタノートを活用して、家庭で集中して学習に取り組むように指導を続ける。

◇読書

- ・様々な本との出会いの中で、語彙力や表現力の幅を増やしていけるように、府立図書館からの貸し出しなども利用して読書活動を充実させていく。
- ・図書担当と司書とで連携をして、子どもたちの意欲が高まる書籍の選定、購入を行う。

◇朝の運動「UPタイム」

- ・取組みを続け、授業への集中力を高められるようにするとともに、規律ある行動ができるようにする。

②生活面

◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣調査の結果をもとに、家庭と協力しながら子どもの生活改善にあたる。特に、睡眠時間、テレビやゲーム・携帯電話等の使用時間などの生活習慣改善の協力が得られるようにする。